

平成29年度 調布市剣道連盟総会及び所属団体連絡会 議事録

平成29年4月16日

総会議題	1. 平成28年度事業報告 2. 平成28年度会計および監査報告 3. 平成29年度役割担当紹介、参加者自己紹介 4. 平成29年度事業計画 5. 平成29年度予算案	理事長	事務局長
	連絡会 報告事項	6. 都剣連・西東京剣道連盟からの連絡・報告 7. 調布市体育協会関連の連絡・報告 平成29年度体協主催事業協力当番団体確認 平成28年度体協主催事業への協力状況報告 ジュニア育成推進事業について 8. 調布市剣道連盟からの連絡・報告 内部大会担当より連絡 各WGの活動進捗状況報告	4/24 確認済
開催日時	平成29年4月16日(日)14:00~16:30 於:西調布体育館 会議室		
出席 (敬称略)	調布剣連役員及び所属団体代表者が出席 ※別紙出席者名簿参照		記録 秋元

- ◆会長挨拶 : 長田会長
- ◆議長選出 : 箕輪理事長が議長に選任された。

議事

議事に先立ち、委任状を含めて総会の決議を満足する定数に達しており、総会が成立する旨が確認された。

1. 平成28年度事業報告  
沢井事務局長より資料に基づき平成28年度事業報告が説明された。
2. 平成28年度会計および監査報告  
久保会計より収支決算書に基づき平成28年度決算内容が説明された。
  - ・消耗品費が予算比32万円上振れ、結果繰越金は169万円から90万円に減少  
消耗品費内訳：事務局IT化によるPC購入、コピー機補修費、事務局長交代に伴う茶封筒大量購入等
  - ・消耗品以外の予算額超過  
普及費（⇒元朝稽古親睦会費用を中央会の負担から正規の負担者剣連に移行）  
大会運営費（⇒西東京合同稽古の主管が回ってきたため会場使用料等の経費が発生）  
雑費（⇒事務局交代、事務局業務分散化により会議開催の激増、会場使用料等）
  - ・収支決算書 繰越残金修正  
（誤）残金890,509円 → （正）残金896,5500円
 続けて石原監査役より会計監査報告がなされた。  
上記報告を受け、全会一致で決算内容が承認された。

(箕輪理事長) 前年度総会で議題となった繰越金解消策は、予算案時に改めて説明予定。
3. 平成29年度役割担当紹介、参加者自己紹介  
箕輪理事長より理事の退任とその後任等について配布資料に基づき以下のとおり説明があった。
  - (退任)  
久保 秀作 会計担当兼段級審査担当理事 → 退任
  - (新任理事)  
福田 知広 (中央剣道会) 外部大会担当理事

(担当変更)

塩幡 勝典 外部大会担当理事 → 会計担当兼外部大会担当理事

(配布資料修正)

広報運営 (HP) 責任者 (誤) 小沼秀行 → (正) 西原時照

上記の説明・報告を受け、全会一致で内容が承認された。

続いて本日参加の団体代表者、理事の自己紹介が行われた。

(調布警察) 代表者交代 清水邦博先生 → 関口誠先生

#### 4. 平成28年度事業計画案

沢井事務局長より、資料に基づき、平成28年度事業計画が説明された。併せて、行事に伴う各種申し込みについて日時と場所が紹介され、以下のことに注意するよう伝達があった。

- ・前期1級以下審査会が8/20に開催されるが、三段以下審査会の申込が8/26であり、間がないので注意のこと。

上記説明を受け、全会一致で事業計画案が承認された。

#### 5. 平成29年度予算案

久保会計より資料に基づき平成29年度予算案が説明された。

- ・事務局IT化の更新費用、ホームページ運営費用を勘案し、繰越金は80万円程度で推移。
- ・一般的に自治体等の繰越金は予算の30%程度で運営されており、当剣連の場合30%だと80万円の水準。

(小林相談役) 既にコピー機のリース期間は終了。消耗品費の説明からリース代は削除されたい。

上記説明を受け、全会一致で予算案が承認された。

- ◆議長解任：箕輪理事長が総会の議長からは解任されたが、続いて行われる連絡会の進行を引き続き行うことになった。

#### ◆所属団体連絡会 連絡・報告事項

##### 6. 都剣連・西東京剣道連盟からの連絡・報告

小川理事より西東京剣道連盟からの連絡・報告が行われた。

- ・4/22に西東京剣連の総会開催予定。

##### 7. 調布市体育協会関連の連絡・報告

箕輪理事長より資料に基づき概要が説明され、平成29年度体協主催事業協力当番団体と当番理事が以下のとおり発表された。

###### 【平成29年度当番団体】

市民大会 : 染地 (主) 七機 (副)

市民スポーツまつり : 中央会 (主) 大町 (副)

市民駅伝 : 聖武会

都民大会開会式参加 (5月7日) : 野崎茂理事、小沼秀行理事

東京都市町村総合体育大会開会式参加 (7月22日) : 沢井學事務局長、小野洋助理事

上記事業のほか、体育協会主催の各種会議に出席する担当者が報告された。

定例幹事会 (8回/年) : 体協幹事 林洋子理事

定時総会 (2回/年) : 剣連代表 小川耕三郎理事

体協理事 長田克巳会長

- ・平成28年度体協主催事業への協力状況報告

2020年の東京オリンピック開催に向け、体協イベントが増加する。体協からは協力依頼あり、各団体には、今後も引き続き協力願いたい (箕輪理事長)。

・ジュニア育成推進事業について

北村理事より、剣連主催のジュニア育成推進事業である少年部合同強化稽古と特別強化稽古を今年度も継続していく旨報告された。

(坂野大町会長) 参加者の選出に際しては、本人の意識と技術の到達度合について、各団体が責任をもって判断し、選別する必要がある。

(試合練習でまったく歯が立たず自信をなくし、2回目以降は欠席となった事例あり)

8. 調布市剣道連盟からの連絡・報告

・内部大会担当より

西原理事より、春期剣道研修会および調布市剣道大会の申し込み要領について報告された。

・調布市剣道大会「案内文」2ページ目のメンバー表原稿記載要領について修正

5人制の場合の、A4用紙の張り合わせ (誤) 2枚 → (正) 3枚

・各加盟団体との円滑な情報伝達を図るため、「加盟団体状況報告書」を制定。

4/30までに事務局に提出願う。

・理事のいない団体について、以下のとおり窓口となる理事を決定した。

調布警察署・第七機動隊 →大平理事 電気通信大・白百合女子大 →鈴木理事

市内都立高校 →石黒理事 市内公立中学校 →小林京子理事

明大明治・桐朋女子 →林理事 他市(矢野口・狛江市・狛江高校) →森理事

・WGの活動状況進捗報告

(1) 小沼理事より、資料に基づき、WG01「剣道稽古での事故防止」の活動状況について報告された。

・事故に対して、剣連として意識をより高めるきっかけとして、「剣道の事故防止について」を取りまとめた。各団体に今年度から実際の稽古の場にて徹底してほしい。

・事故に関しては、指導者側もトラブルに巻き込まれかねない。賠償責任への対応について、剣連として保険に加入する。

(2) 小野理事より、資料に基づき、WG02「剣連引退後の会員処遇について」の活動状況について報告された。

・理事の70歳定年後の処遇として新たに「名誉会員」を設け、規約で明確化した。名誉会員は剣連登録料は免除される。

・規約の改定については、2月の理事会にて承認された。(西原理事)

(塩幡理事) 名誉会員は何人ぐらいになるのか。剣連収入の減少要因になる。

(小野理事) 将来剣連運営に影響があれば、別途検討が必要かもしれないが、名誉会員には理事会の承認が必要であり、当面収入への影響はない。

(3) 西原理事より、WG03「剣連への団体加入手続き」の活動状況について報告された。

・剣連加盟団体への加入手続きを明確化した。現在、調布五中、白百合女子大より加入の申し込みがあり、今年度より新たに加盟団体となる予定。

・一方、従来加盟団体であった調布消防署剣道部については、先方から事務局へ今後の通知類の送付停止の要望があった。ここ数年の活動実績がないため、脱退することになった。(箕輪理事長)

(4) 小沼理事より、資料に基づき、WG06「事務局運営体制のIT化」の活動状況について報告された。

・会計報告にあったように、剣連専用PCを購入し、事務局の理事に配布した。

・今後は、事務局のデータをクラウドサーバーで共有し、事務局業務の標準化・効率化を図っていく。

(5) 長田会長より、WG04「近藤勇杯の存続について」の活動状況について報告された。

・近藤勇杯は、近藤勇と新選組の会が主催で、剣連はあくまで後援の立場。

・高点試合形式のため強い子と弱い子の格差が大きく、強い子は何試合もする一方、弱い子は強い子と当たってしまうだけで丸1日かかってしまう。

- ・今年度は開催するが、来年度以降について、現在、主催者側と連絡を取りながら継続か廃止かを検討中。

<その他、確認事項>

(大平理事) 富宇加会長に対し六段審査会の申し込みの案内が届かず、申し込みができなかった。六段以上審査会の会員への周知の方法を確認したい。

(沢井事務局長) 五段以下は各団体宛てに連絡。六段以上は対象者が少なく、従来対象者に個別に連絡していたのと、各団体を代表している理事に報告すれば事足りていたのでは、今回も理事にしか配信しなかった。

今後は五段以下と同様に理事と各団体あてに案内することとする。

◆閉会挨拶：宮田副会長

以 上